



# 森ボラ 通信

第43号 2005年12月20日発行  
N P O 法人 北海道森林ボランティア協会  
札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F  
Tel:241-8155 Fax:241-8308  
E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp  
URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

## ■トピックス

### ◆2005 忘年会 —積丹シリーズ—

来年度積丹町支援の動きもあり、今年の忘年会は積丹町まで出かけました。出席者は30名を超え、予定を遣り繰りして夜遅れて参加組と早朝出立組の熱心な(物好きな)会員も数名おりました(私もですが・・・)。今年の幹事は西野さんで、活動写真やポスターの展示、手作りの押し葉のカードによる神経衰弱など、これまでにない趣向を凝らした会となりました。また、ビンゴの景品には湯澤さんの特大タケノコが今年も



登場し、全員の期待を集める一喜一憂の争奪戦となりました。この熱い闘いを和らげるビンゴガールにはやはりこの人、山原さんが花を添えてくれました。外は吹雪の夜でしたが、雪をも解かず盛り上がり、冬将軍もたじたじだったことでしょう。

翌日は日本海を一望する岬の湯につかりました。吹雪の中凍った通路を露天の湯船に走るのには勇気が要りましたが、女性陣は果敢に挑戦していました。折りしも岬の湯は町のお祭り会場となっており、何種類ものチャリティー海鮮鍋や縁日に興じ締めくくり、十分に遊び疲れた空気を乗せてバスは札幌へと走りしました。(柴田記)

さて問題です。この写真に写っていて岬の湯で消えたのは誰？

### —木工シリーズ—

12月19日(月) 9:30～ 於: 杉本邸

この日は木工の今年の最終日ということで、いつも使わせて頂いている杉本邸作業場の整理・整頓を行った後、忘年会を実施しました。前回の12月5日の作業日に完成した作業台の上に「山の神」を加治さんが祭ってくれました。参加者一同加治さんの先導で今年1年無事に作業が終了したことに対して「山の神」に感謝のお祈りをした後、忘年会に移行。ビールで乾杯の後は皆さん目の前に並んだ料理を肴にこの一年の作業を振り返ったり、来年は何をやるか等話が弾みました。この日の豚汁はダシが出て特に美味しく、また、高橋(静)さん差し入れの牡蠣の蒸し焼も格別な味でした。湯澤さんが少し遅れて見えたのですがいつも持ってきてくださる竹の子や蕨の入った煮物を持参してくれました。これまた北海道の味、この季節には欠かせないものです。

午後2時過ぎに一応解散しましたが、その後楽しんだ方もいらしたようです。

加治さん、お疲れ様でした。新年の先導師もよろしくお願ひします。(参加者20名、荻田記)



◆空中写真で見る作業現場 05/12/14

【開催】12月14日 ちえりあ

【出席】19名

【講師】Air Photo Lab. ボランティアクラブ  
板垣恒夫氏・渡辺宏氏・若森邦保氏

【講演】航空写真とその活用：渡辺氏

【実習】活動地を航空写真で見てみよう

空から見ると木の生えているところ、植えられたところ、伐られたところ、崩壊した山、虫害水害地などははっきり判別でき環境保全活動に必須のツールであることを学びました。

藻岩・澄川の活動地写真で実習しましたが、昨年の台風で倒れてしまった木、はげて木のない穴地などが上から見えて鳥になった気分でした。できたら野幌活動地で台風前の写真、地ごしらえした写真と5年ごとに撮って後輩に残したいなとその時思いました。

いやそんな下衆な思いより私たちの活動は神様が空からチャンと見てくれているのだと思ひましよう。  
(酒井記)



… 会員からの携帯メール

「今日は朝からお勉強、新しいこといろいろ一我がボランティアの仲間になれたこと良かったと実感です。また楽しい時間をよろしく。」

… 渡辺先生からのメール

「皆さん熱心に聴いてくれ、また興味を持って実習をやってくれたので、講義する側としても楽しく説明が出来ました。」

… 板垣先生からのメール

「ご丁寧な有り難う御座います。渡辺先生の指導で、Air Photo Lab の勉強会を今後とも続けて行きます。会員の方々に写真判読をもっと覚えたい方がおられましたら、是非参加されるようにお勧め下さい。フォトテクノさんへは、お気持ちを伝えておきます。森林ボランティア協会の益々の発展をお祈りします。」

## ■今月の幹事会

2005年12月12日

1 公園管理ヒアリング対応

円山公園は出資団体以外1団体のみ応募なので、ヒアリングの可能性あり、対応の準備をする。

2 北海道神宮直接経費清算内容点検、芝幹事に窓口委任。

3 リンゴ園参加者交通費相当金額を交渉する。窓口芝氏。

4 森ボラ通信 編集スタッフ高野、柴田、西野記者荻田、山中、加治、酒井、杉本則、山原

5 収益事業開発委員会

円山公園、積丹町を含め必要に応じプロジェクトチームを編成する。

6 冬期森林施業の検討

国有林人工林の枝打ち、つる切り

澄川拡張部分の境界確認

7 「石狩地域森林ボランティアネットワーク」形成に向けた

情報・意見交換会対応 12月14日(水) 13:30より

道庁別館西棟(旧フジヤサントス)4階6会議室

参加：森林ボランティア6団体：札幌ウディーズ、クマゲラ、メイプル、シラカンバ、  
コープさっぽろ植樹みどりグループ

8 滝野スズラン公園ヒアリングは事務局で対応する

9 助成金申請対応2件

※ 1月幹事会は第二月曜日の9日が祭日のため10日(火)にスライドします。

パソコン教室 Part4  
ーホームページのメンテナンスー  
【開催日時】1月13日(金)  
【開催場所】未定(調整中)

平成17年度  
北の国 森林づくり技術交流発表会  
1月26日 (木)PM  
北海道森林管理局 大会議室  
当会対応者、酒井、高野(豊)、西野(悌)

冬季セミナー1【テーマ】ー海外緑化活動ー  
【開催日時】1月17日(火)13時30～  
【開催場所】リンケージプラザ第3研修室  
(地下鉄東西線11条駅)

- ・ 第1部 講演：松村清松氏  
「戦時中国での植樹活動」
- ・ 第2部 パネルディスカッション  
海外緑化の現実と未来  
司会：高野 豊  
パネリスト：荻田、酒井、松村、棟方、

#### ◆「石狩地域森林ボランティアネットワーク」形成に向けた情報・意見交換会

12月14日(水) 13:30より空中写真セミナーから流れて参加してきました。前ページに記載しました森林ボランティア6団体の代表者以外に、当協からは5名も参加しました。

北海道は2007年に全国植樹再を迎えるにあたり、民間森林ボランティアをとりこんだ森づくりに取り組む姿勢の現れと見えました。

道は次の段階として市町村担当者を招集して、活動フィールドの情報を収集整理して、さらに全体を前進させる意向を示しました。積丹町もこの中に取り入れられることで、認知されることになりそうです。



#### ◆木の里親募金

千歳市立若松小学校5年生から30,941円の募金がありました。ホンデュラス向けとのことで、担任の先生から直接お電話もいただきました。

インターネットで探したということですが、数限りない募金先の中から我が協会を選んでもくれたということに、驚きと喜びを禁じ得ません。子どもたちの気持ちにどう応えるべきか、目下検討中です。近々素案をまとめお知らせします。子どもたちの中にもたげた芽を大きく育てるにはどうしたらよいでしょう。皆で考えたいと思います。

#### ◆冬芽観察会

樹種毎の四季の変化を一年を通じて観察し、データとしてストックしておこうという企画が持ち上がっています。どう進めるか机上で決める前に走り出しちゃおう！ということで、元旦に初詣も兼ねて観察会を行うことになりました。葉や幹で樹種は判定できても、冬芽となるとピンときません。長く厳しい冬を乗り越えるデザインに迫ってみましょう。

【集合時間】2006年1月1日(日) 9時30分

【集合場所】円山バスターミナル(地下鉄円山公園駅直通)

【持ち物】カメラ・かんじき(お持ちでない方は、身一つでご参加ください)

## ■活動履歴

活動日	場所	参加人数	活動内容
12/20	札幌市産業振興センター	10	メールの達人になろう
12/19	杉本邸	20	木工、山の神への感謝の祈り
12/14	ちえりあ	19	空中写真で現場を見てみる
12/9	積丹町シーサイド余別	30	2005 忘年会
12/5	杉本邸	12	木工
12/1	札幌市産業振興センター	10	図形の扱いと年賀状
11/28	杉本邸	13	木工
11/25	北海道神宮		降雪により中止
11/24	藻岩国有林		降雪により中止

## ■ひとこま

### ◆パソコン教室

西野会員講師によるパソコン教室も3回を数えました。初回はエルプラザにて参加者がノートパソコンを持ち込んでの講習でしたが、パソコンの台数不足から設備の整った会場が必要となり、2回目から東札幌の札幌市産業振興センターに場所を移しました。一人一台のパソコンに、二人一台のモニターがついており、手元のモニターを確認しながら参加者全員同じスピードで学習を進めることができます。

初回と2回目はWordで画像や文章を組み合わせて年賀状をつくってみました。3回目はメール入門で、メール送受信の仕組み・ルールから設定の裏技まで教えていただきました。幅広いレベルに対応する木目細やかな教授振りに、西野さんの高度な知識が覗えました。

生徒も回毎に着実にステップアップしています。初回ごちなさが見えた教室も、3回目ともなるリラックスムードで、質問やカリキュラムの要望も積極的に発せられるようになりました。次回は要望を受け、デジタル写真の画像処理についてノウハウを学ぶことになりました。ずっと疑問に思っていたことが解決するチャンスです。どんなレベルでも初めての参加でも大丈夫です。遊ぶつもりで参加してください。

(柴田記)



皆様、よいお年をお迎えください。